

抗潰瘍剤の分析 2 H₂ Brocker

抗潰瘍剤は胃潰瘍などに使用され、H₂ ブロッカーやプロトンポンプ阻害剤 (PPI) などがあります。H₂ ブロッカーは胃粘膜細胞壁に存在するヒスタミン H₂ 受容体へのヒスタミンの結合を阻害して、胃酸の分泌を抑制します。日本では 1998 年からスイッチ OTC によって薬局などで販売され、話題となりました。

本分析では、H₂ ブロッカーのシメチジン、ラニチジン、ファモチジンを一斉分析しました。L-column2 ODS を用いることにより、どのピークもシャープに得ることができました。

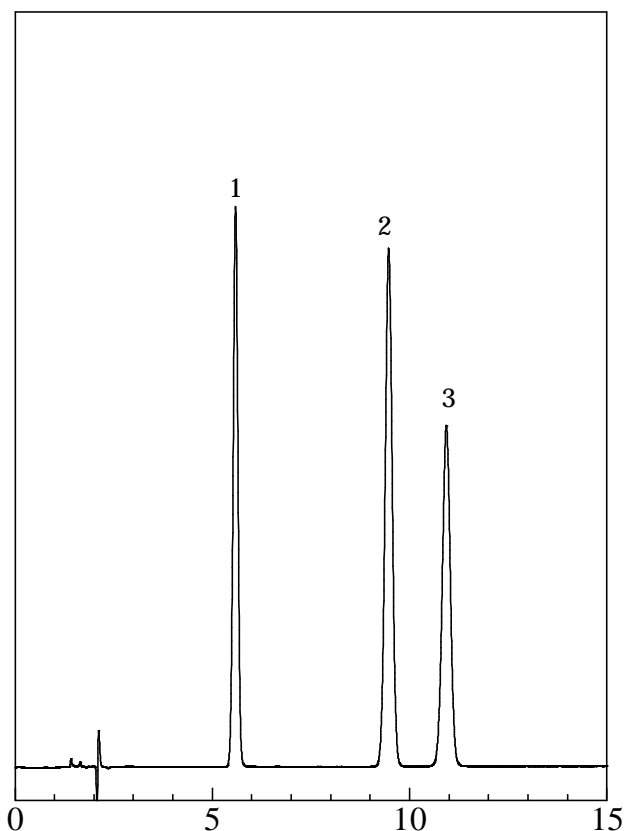
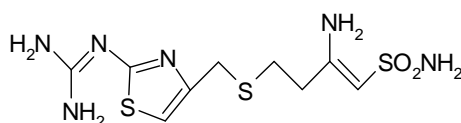
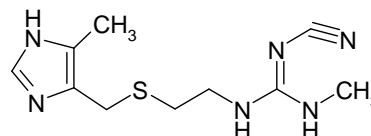


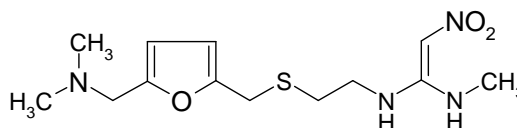
Fig. Chromatogram of H₂ blockers



1. Famotidine (300 mg/L)



2. Cimetidine (300 mg/L)



3. Ranitidine (300 mg/L)

【Analytical conditions】

Column	: L-column2 ODS (5 μm, 12 nm) 4.6 × 150 mm
Mobile phase	: CH ₃ CN/25 mM Phosphate buffer pH7.0 (10/90)
Flow rate	: 1.0 mL/min
Temperature	: 40
Detection	: UV 230 nm
Injection volume	: 1 μL in CH ₃ CN